

Mihonoseki 伝建だより



青柴垣神事（5年ぶりにコロナ禍前の規模で行われた）

Vol.4

2024.5

TOPIC

- ・第1回美保関まちなみ塾を開催!!
- ・重伝建地区の防災について Part I
- ・お知らせ

※「Mihonoseki伝建だより」…松江市では、美保関町美保関にて伝統的建造物群保存地区制度、通称「伝建」の導入を検討しています。制度の内容や市の取り組みについてお伝えします。

第1回 美保関まちなみ塾を開催!!



日時：令和6年5月12日（日）14:00～16:00

会場：美保関文化交流館

参加者数：約50名

講師：錦織慶樹氏（松江市文化財課 歴史史料専門調査員）

福田公一氏（美保関 観光ガイド）

朝倉功氏（美保関 観光ガイド）

主な内容：

- ・弥生時代の遺跡が発見（美保関町四谷）
- ・美保神社の境内から弥生時代の祭祀遺物が大量に出土
→ 美保神社の原点である祭祀遺構は弥生時代からあったと推測。
- ・「美保関」という地名のなぞ
- ・中世の海上交通の発展と「港」として重要になった美保関。
- ・近世の記録では100艘以上の舟が入港。船問屋、船宿、漁業が商売の中心。
- ・陸上交通が整備され、美保神社への参拝客が増加。団体客は鉄道の開通により増加。
- ・1,800年に民家からの出火により美保神社の主要建物のほとんどが焼失。数回の修理や建て替えを繰り返す。
- ・火災による延焼を防ぐため、神社周辺の民家を移転し、美保神社を大造営。収蔵庫と手水舎の間のタブノキはもとの本殿の御柱の跡地！
- ・美保関は精神的なものの考え方と神道的な生活が垣間見える全国的にも貴重なまち
- ・美保神社と末社の御祭神等、美保関に坐す神々について

参加者の声：

- ・地元に住んでいても知らないことがある。いろんな話が聞けて良かった。
- ・座学だけでなく、ガイドのユニークな案内でまちなみを歩けたことで歴史の味わい深さを感じた。



第2回 美保関まちなみ塾

（テーマ）美保関の祭祀と當屋組織

日時 令和6年6月9日（日）
14:00～16:00

場所 美保関文化交流館 2階

講師

- ・横山直正氏（美保神社 権禰宜）
- ・福岡 治氏（美保神社 氏子）
- ・西垣佑一郎氏（美保神社 氏子）

参加無料・要申込

申し込み先

松江市文化スポーツ部文化財課
歴史まちづくり係
電話(0852)55-5956

申し込みQRコード



重伝建地区の防災について Part 1

美保関町美保関地区（美保関漁港周辺）は、伝統的建造物を含む木造家屋が密集する地区ですので、災害に対して強いという環境ではありません。松江市では、伝統的建造物などを守り、市民生活を安全なものとするために、今後、地区の防災計画を策定する予定としています。

? おしえて まちなみ相談室

伝建に選定された地区ではどんな防災設備を整えているの？

他の伝建地区の火災予防の取り組み

木造建築が密集する伝建地区では、大規模火災への対策に取り組まれています。地域全体で火災を初期の段階で抑えることを目的とし、それぞれの地区に合った防災設備や施設の整備が進められています。



消火栓（大田市温泉津町）

※地域住民が使用できる消火栓。地区内に30基を設置。地域住民らで放水訓練などを行う。



簡易操作性1号消火栓を備えた木製収納箱
（佐賀県 鹿島市浜庄津町浜金屋町）



※火災が発生した民家で警報機が作動すると、両隣や向かいの民家の警報器も連動して鳴る

※空き家にも設置を進める

連動式自動火災報知設備
（岡山県津山市城東地区）

おしらせ

📷 まちなみの古写真を探しています

昭和50年代までの美保関のまちなみの写真を集めています。写真は今後、まちなみを保存するための貴重な資料になります。お持ちの方がいらっしゃいましたら、文化財課までご連絡ください。写真は複写した後に返却します。

👤 新メンバー紹介



4月の人事異動により、歴史まちづくり系のメンバーが変わりました。

ご意見等ありましたら、お気軽にお尋ねください。

■ 問い合わせ先

〒690-8540 島根県松江市末次町86番地
松江市文化スポーツ部 文化財課 歴史まちづくり係
電話 (0852) 55-5956